

平成 29 年度 北区長マニフェスト

北区長 飯野 晋

マニフェスト

北区が乗り越えるべき最大の課題は、人口減少、特に、転出など社会的要因による人口減少を止めることです。昨年度、各地域を代表する子育て世代の皆さまから、夢と希望に溢れた 20 年後の北区の青写真である「北区の未来予想図」をまとめていただきました。「北区に住み続けたい」「北区に戻ってきたい」「北区に住んでみたい」と思えるまちづくりを、この未来予想図の実現も念頭に、地域と行政が一体となり、北区の総力を挙げて取り組みます。

具体的には、チャレンジしたい、子育てしながら、生活を楽しみながら、といったニーズに合った「働きたい仕事」の創出に向けて、稼げる農業の確立、新産業の創出、コミュニティビジネスの振興に取り組みます。また、子育てしやすい、安心して暮らせる、といった「暮らしやすさで選ばれるまち」となるため、地域課題の解決に向け自治会・町内会、地域コミュニティ協議会などと協働により取り組みます。さらに、豊かな自然、特産物、伝統文化、スポーツ活動、といった北区の魅力を「地域の誇り」とするための取組みを推進するとともに、対外的にもアピールしていきます。

この方針のもと、北区は今年度、次の 3 つの取組みを重点的に実施します。

1. 新たな雇用創出に向けた、稼げる農業の確立や新産業の創出に資する取組みを推進します。
2. 暮らしやすさの向上に向けた、子育て支援、高齢者福祉、防災・防犯、生活環境などの地域課題に対する地域との協働の取組みを推進します。
3. 北区の魅力そして誇りを高める、自然、農産物、伝統文化、スポーツ活動など北区の特長を活かした取組みを推進します。

マニフェスト実現に向けた取組み

1 新たな雇用創出に向けた、稼げる農業の確立や新産業の創出に資する取組みを推進します。	
現状（課題）	<p>北区では、職業を理由とする転出などの社会的要因による人口減少が続いています。また、農業者の高齢化や後継者不足が課題として顕在化しています。</p> <p>これらの課題に対応するためには、地域の雇用創出に向けた取組みが重要となることから、産学官連携による新産業の創出と農・商・工の産業活性化策に積極的に取組み、「働きたい仕事」を創出する必要があります。また、就農希望者を支援し意欲ある担い手の確保・育成を行う必要があります。</p>
	<p>目標 平成 31 年度までに積極的に産業の振興を図り、新たな雇用の場を創出する。</p> <p>課題解決策</p> <p>新産業創出の取組みでは、地元企業や大学とともに開発中の海岸保安林の下草刈りロボットについて製品化を見据えた検証を進めていきます。また、海岸保安林を地域資源として活用するため、地域住民が主体となるコミュニティビジネスの振興を進めます。</p> <p>稼げる農業確立の取組みでは、新たな地域ブランドである「しるきーも」が地域に定着するよう、品質向上と増産に取り組むとともに、区内飲食店等での取扱いや加工食品への利用を促進することで、北区産農産物の「売れる仕組み」を構築します。</p> <p>地域商業活性化の取組みでは、継続した賑わいを創出するため、地域ごとにテーマを</p>

	<p>設定し一体感を持ったイメージアップを図ることで新規誘客に繋がります。 就農支援の取組みでは、引き続き関係機関・団体と連携し円滑な就農や農業法人への研修生受け入れを促進します。</p>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保安林を活用した新産業とコミュニティビジネスの創出 ・ 「しるきーも」の品質向上によるブランド化と加工食品利用による販路拡大 ・ 耕作放棄地の活用などによる砂丘地における園芸作物の増産 ・ 地域ごとにテーマを設定した商業活性化策の推進 ・ 新規就農希望者の支援や農業法人への研修生受け入れ促進による雇用の創出

2 暮らしやすさの向上に向けた、子育て支援、高齢者福祉、防災・防犯、生活環境などの地域課題に対する地域との協働の取組みを推進します。			
現状 (課題)	<p>近隣市区町村に対して人口流出超過となっています。結婚や住宅を決める段階で北区が「暮らしやすさで選ばれるまち」となるために、子育てや防災・防犯などの直面する諸課題を、それを抱えた住民と行政だけでの対応ではなく、これらを地域課題と捉えて、自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、そして市民団体などとの協働により解決していく必要があります。</p>		
課題解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">目標</td> <td> <p>平成34年度までに地域との協働により、北区の魅力を高め、北区人口の社会増加数をプラスに転換する。</p> </td> </tr> </table> <p>「北区の子どもたちのために何ができるのか」という共通認識のもとに、地域での子育てや家族を支えあう体制づくりを進めます。 住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向け、住民同士の支え合いのしくみづくりを進めます。 また、健康寿命の延伸に向けて、特定健診の受診率を向上させるとともに、北区独自の認知症検診を実施し、認知症患者の早期発見、早期治療につなげます。 自助・共助・公助の理念のもと、地域自主防災組織・地域コミュニティ協議会・市民団体・消防団・消防署・区役所などが、災害・犯罪・生活環境・生活交通など様々な地域課題に対し、それぞれの役割を再確認し、地域が一体となり連携した取組みを実践します。 少子化が進み空き家対策を地域課題としている南浜地区において、空き家の実態調査や移住に関する取組みについて地域と連携し対策の方向性を検討します。 暮らしやすいまち、住んでみたいまちを目指し、新たなまちづくりに取組みます。</p>	目標	<p>平成34年度までに地域との協働により、北区の魅力を高め、北区人口の社会増加数をプラスに転換する。</p>
目標	<p>平成34年度までに地域との協働により、北区の魅力を高め、北区人口の社会増加数をプラスに転換する。</p>		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活交通の確保 ・ 生活環境の地域課題に対する地域との協働 ・ 地域包括ケアシステムの構築 ・ 世代間交流による子育ての支え合い ・ 健康寿命の延伸 ・ 認知症の予防 ・ 妊娠期からの子育て支援体制の構築 ・ 公園施設の点検及び防犯パトロールの実施 ・ 工事現場での安全管理の徹底 ・ 地域の自主防災力の強化 ・ 防災拠点としての新庁舎整備 ・ 空き家対策、移住促進に関する打ち合わせの開催 ・ J R 豊栄駅北地区整備についての勉強会の開催 		

3 北区の魅力そして誇りを高める、自然、農産品、伝統文化、スポーツ活動など北区の特長を活かした取組みを推進します。

現状（課題）

北区の20～24歳人口が県内・県外へ大幅な転出超過となっています。北区で生まれ育った人たちから「北区に住み続けたい」「北区に必ず戻ってきたい」と思ってもらうため、四季折々の北区の良さを見つけて体感するとともに、様々な活動に参加して地域の絆を深めることで、「ふるさと北区」に誇りを持ってもらうことが必要です。

例えば、北区の特長である自然、農産品、文化・スポーツ活動を通じた取組みは、区民一人ひとりがいきいきと輝く場を創出して、北区の一体感の醸成などに資するものです。これらの活動を活性化していくためには、より多くの区民が気軽に参加し、交流を広げられる環境づくりと継続性を確保していく取組みが必要です。

また、これらの北区の見どころや魅力をソーシャルメディア等を活用し、戦略的に広報していくことが必要です。

目標

平成31年度までに、文化・スポーツ施設利用者数を平成26年度の比較で5%増とするとともに、北区の自然や農産品などの魅力を再発見し、より多くの人々に伝えるために、フェイスブックを活用した情報発信に努める。
また、魅力をイベントの質向上にも活用し、参加者の増加を図る。

課題解決策

音楽・演劇など文化・芸術活動による地域の活性化を目指し「文化・芸術のみやこ北区」の実現に向け、交流人口の拡大と区民が主体となる活動、郷土芸能の伝承への支援に取り組めます。

スポーツを通じて、地域や関係団体などとの協働や健康増進を推進し、北区の一体感の醸成や健康寿命の延伸などにつなげます。

自然や農産品など北区が誇る観光資源を活用することで、魅力向上を図り、新規観光客とリピーターを増加させます。

フェイスブックを使って新鮮でタイムリーな情報や北区の魅力などを区内外に発信し、多くの人々に北区の魅力を伝えます。

主な取組

- ・スポーツ活動を通じた区民の一体感の醸成
- ・文化・芸術活動による地域の活性化
- ・フェイスブックを活用した北区の見どころや魅力の発信
- ・北区の観光資源を活用した交流人口の拡大

平成 29 年度 各地区地域課題

地区	地域課題	概要
松浜	松浜海岸の再生と地域の活性化	飛砂の原因となっている海岸を、飛砂防止対策となるハマグミを植栽することなどにより再生し、住民の憩いの場とし、松浜地域の活性化を目指したい。
南浜	地域住民と若者が、ふれあい協力し合いながら、楽しく健康的に暮らせる地域の特性を生かしたまちづくり	高齢化・核家族化等により人口減少が課題となっている。地域と行政が連携し、大学にも働きかけ、住民と若者がふれあい、協力して楽しく健康的に暮らせるような、地域の特性を生かしたまちづくりをしていきたい。
濁川	濁川自然生態観察園（通称：とんぼ池）の現状と今後の維持管理について	高齢者が増加し、空き家も目立つようになり、地域の賑わいが無く、買い物する場所や飲食店が少ない状態。濁川自然生態観察園を再び地域の子どもたちや家族が集う場所としたい。
葛塚	一人暮らし高齢者や認知症等の人に対する地域と行政の対応について	年々増加する一人暮らし高齢者や認知症の人に対して、民生委員や自治会長などの負担が大きくなっている。こうした高齢者を地域で支えるために行政と自治会やコミュニティが連携協力する体制づくりが必要。
木崎	『未来の北区ビジョン達成のための提案』 ～行政・地域・企業が一体となって地域の活性化～	①観光を通して地域の教育を考える。地域の素晴らしさを伝える教育、地域への愛着心を醸成する教育の徹底 ②工業団地等の大手・中堅企業への人材採用を拡大してもらい、若者の定着率を上げる ③自治協議会での提案事項を行政頼みにせず、直接地域コミュニティと地元の民間企業が関わる仕組みづくり
岡方	自然豊かで住みよい、「いいろこ岡方」を次世代に	阿賀野川の川辺、十二瀬、天然記念物の高森のけや木、大久保のけや木などの農村景観を保持し、豊かな自然を守っていく活動を継続させるために地域と行政の連携が必要。
長浦	住民が暮らしやすさを実感できる地域づくり	①少子高齢化、若者の流出等に起因する地域衰退からの脱却 ②公共交通網の整備 ③コミュニティ隣接の施設の活用
早通	ゴミ・空き缶・タバコの吸い殻・空き瓶等の「ポイ捨て」しないまちづくりの構築	北区内の全自治会が協力しながら看板やポスターを掲示する等、環境美化を含めたポイ捨て 0 の美しいまちづくりを目指したい。